

<問い合わせ状況 2025年6月>



● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。6月の疑義照会は5件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認 (2件)
- その他 (3件)
 - ・薬剤追加希望
 - ・処方箋の期限切れ
 - ・後発品不可指示における処方医サインなし



● 薬に関する問い合わせ (患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

6月は2件のお問い合わせがありました。

- (家族より) お願いして出してもらった薬だったが、重複していた。削除可能か
- (本人より) 現在服用中の薬とOTCの胃腸薬は併用して大丈夫か

● 薬に関する問い合わせ (院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してあるDI室への問い合わせは、6月は11件でした (病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎がついたものについては回答をDIニュース No. 470 に記載しています。

- キシロカインポリアンブの形状が変わったが、口径は変更されたのか → 口径は変化なし
- アルプロスタジル注で血管に沿って発赤が生じた。対応は?
→ 炎症が生じていると思われるため冷却する。投与前の予防としては温めておくことも有り。
- サイアザイド系利尿剤は何が採用薬か → フルイトラン[®]
- ユリス[®]錠を1mgから開始することがあるか → メーカーにはそのような情報は無い
- ラクツロース[®]シロップとポルトラック[®]の対応量は → 1包 (10mL) = 1包 (6g) で良い
- プラシルカストで唾が出にくくなることがあるか → 副作用に「口渇」の記載あり。発現機序は不明。
- 生食とソル・メドロールで「配合注意」のアラートが出たが混合してはダメか
→ 24時間で含量が90%を下回る。短時間での投与なら可能。

◎エブランチル[®]カプセルは徐放だが簡易懸濁法は可能か?

◎イニシンク[®]配合錠は1回/日投与となっている。メトホルミンを含有しているが1回/日で良いのか?

◎強力ネオミノファーゲン[®]とハイカリック[®]は配合変化があるが、

強力ネオミノファーゲン[®]とエルネオパ[®]は配合に問題が無い。

ハイカリック[®]にアミパレン[®]を混合したものと

強力ネオミノファーゲン[®]の配合はどうか?

